

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	舞踊	種目	バレエ
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	いっぱんざいだんほうじん			
	制作団体名	一般財団法人牧阿佐美バレエ団			
	代表者職・氏名	理事長 福田 恭三			団体ウェブサイトURL
					https://www.ambt.jp/
	制作団体所在地	〒	164-0001	最寄駅(バス停)	中野
		東京都中野区中野6-27-13			
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です			
	ふりがな				
	公演団体名				
	代表者職・氏名				団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒		最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	1956年11月			
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
		理事長 福田恭三 理事 山田佳代、佐藤周三 監事 見瀬賢悟 評議員 塚田渉、宗像雄、加藤佐知子		芸術監督:三谷恭三 バレエミストレス:沢田加代子、挟間祥子、ゆうきみほ、田中祐子 舞踊手:青山季可、清瀧千晴、大川航矢、米澤真弓 (他73名) 加入条件:クラシックバレエの技術を体得し、かつプロフェッショナルとしての力量を有すると認定される者	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く		本事業担当者名	小原伊
	経理処理等の 監査担当の有無	有		経理担当者	小林久子
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス			電話番号
		<a href="mailto:ohara@maki-ballet.jp">ohara@maki-ballet.jp</a>			0333608351

制作団体の実績

制作団体沿革・主な受賞歴	<p>沿革：</p> <p>1956年 11月 1933年に設立された橘秋子舞踊研究所を母体に牧阿佐美バレエ団創設</p> <p>1968年から文化庁助成金受領</p> <p>1973年 海外公演(ロンドン、スイス、ギリシャ)</p> <p>1978年 第1回海外公演(20都市41公演)以後多数回</p> <p>1986年 牧阿佐美バレエ団創立30周年</p> <p>1986年 中野に新スタジオ開設</p> <p>1993年 財団法人橘秋子記念財団傘下に入る</p> <p>2005年 海外公演(パリ、ピアリッツ、バルセロナ)</p> <p>2006年 海外公演(スペイン5都市)</p> <p>2008年 海外公演(スペイン8都市)</p> <p>2006年 牧阿佐美バレエ団創立50周年</p> <p>2014年 海外公演(スペイン)</p> <p>2015年 一般財団法人牧阿佐美バレエ団として独立</p> <p>2016年 牧阿佐美バレエ団創立60周年記念事業実施</p> <p>受賞：</p> <p>1961年 第16回文部省芸術祭「文部大臣奨励賞受賞」</p> <p>1965年 第15回芸術選奨文部大臣賞受賞</p> <p>1967年 芸術祭奨励賞 紫綬褒章(橘秋子)</p> <p>1984年 ニムラ賞(牧阿佐美)</p> <p>1986年 芸術選奨文部大臣賞 舞踏芸術賞</p> <p>1996年 紫綬褒章(牧阿佐美)</p> <p>2004年 フランス芸術文化勲章シュヴァリエ賞(牧阿佐美)</p> <p>2021年 文化勲章(牧阿佐美)</p> <p>2025年 舞踊批評家協会賞(清瀧千晴)</p>
学校等における公演実績	<p>1972年～1998年 文化庁移動芸術祭、青少年芸術劇場(各地中学生対象)</p> <p>1975年、79年、83年、85年、86年、98年 文化庁芸術祭「白鳥の湖」</p> <p>1979年、85年、文化庁こども芸術祭(各地小学校巡回)「白鳥の湖」</p> <p>1988年 大阪府吹田市市民劇場「白鳥の湖」</p> <p>1991年、92年 都民バレエ名作劇場(各年、都内3カ所巡回)</p> <p>「リーズの結婚～ラ・フィュー・マル・ガルデ～アシュトン版」(全幕)</p> <p>1994年 新宿区文化振興会 名作バレエ劇場「白鳥の湖」</p> <p>1995年 桐蔭学園(神奈川)鶴川メモリアルホール</p> <p>「リーズの結婚～ラ・フィュー・マル・ガルデ～アシュトン版」(全幕)</p> <p>1995年、96年 都民バレエ名作劇場(都内3カ所巡回)「三銃士」</p> <p>1999年～2004年 文化庁芸術体験劇場(各年、小学校、中学校巡回)</p> <p>2000年 東京藝術大学 芸術センター「舞曲の楽譜」</p> <p>2008年 日生劇場ファミリーフェスティバル 字幕付き公演「ジゼル」(5回公演)</p> <p>2009年 桐蔭学園(神奈川)鶴川メモリアルホール(1回公演)及び昭和女子大学(東京)人見記念講堂(1回公演)「白鳥の湖」</p> <p>2014年 日生劇場ファミリーフェスティバル 字幕付き公演「ドン・キホーテ」(5回公演)</p> <p>2019年 日生劇場ニッセイ名作シリーズ2019(学校生徒対象)公演「ドン・キホーテ」(5回公演)</p> <p>2021年 日生劇場ファミリーフェスティバル 「白鳥の湖」(6回公演)(事前説明付き)</p> <p>2021年 文化庁 文化芸術による子供育成総合事業(実演芸術)(小学校、中学校対象)(10回公演)</p> <p>2022年 文化庁 文化芸術による子供育成総合事業(実演芸術)(小学校、中学校対象)(5回公演)</p> <p>2023年 文化庁 文化芸術による子供育成総合事業(実演芸術)(小学校対象)(8回公演)</p> <p>2024年 文化庁 文化芸術による子供育成総合事業(実演芸術)(小学校対象)(9回公演)</p> <p>2025年 文化庁 文化芸術による子供育成総合事業(実演芸術)(小学校、中学校対象)(5回公演) 内定</p>
特別支援学校等における公演実績	<p>山梨県立やまびこ支援学校</p> <p>2021年 文化庁 文化芸術による子供育成総合事業(実演芸術)「ドン・キホーテ」</p>

参考資料

申請する演目のWEB公開資料	有	
※公開資料有の場合URL	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=ePD2X-Wbj5Y">https://www.youtube.com/watch?v=ePD2X-Wbj5Y</a>	
※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
	PW:	

一般区分・特別エリア区分共通

No.2(実演芸術)

別添

なし

【公演団体名

一般財団法人牧阿佐美バレエ団

】

本公演・ワークショップの内容

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	初めてのバレエ 参加して楽しもう！古典バレエの名作「白鳥の湖」			
企画のねらい	敷居が高いとされているバレエを身近に感じてもらい、バレエに親しみを感じられるようにしたい。バレエの名作「白鳥の湖」を通して音楽と一体化して身体で表現する楽しさにふれてほしい。目で観て、耳で聞き、心で感じることを目的としたい。			
演目概要・演目選択理由	・バレエを見たことがない人でもバレエと言えば「白鳥の湖」を思い浮かべるほど一般の認知も高い名作であり、牧阿佐美バレエ団は初演時に上演したオリジナルの演出をそのままにこれまで正統派の伝統を守り伝え続けています。劇場での本公演で使用する衣装や演目の一部など、子どもたちに「本物」を実際に見せて伝統あるバレエを未来へ伝えていくことの大切さを感じてほしいと考えています。 ・2幕のオデットと王子の出会いのシーンから始まり、4幕のフィナーレまでを学校公演特別バージョンとして上演し、「白鳥の湖」という作品を知っていただけるように構成します。白鳥たちのクラシックバレエならではの動きや、コール・ド・バレエの幻想的な美しさ、3幕のディベルティスマンの多彩さを見せることで、バレエの奥深さに触れていただくことをねらっています。			
児童・生徒の参加または体験の形態	<div>＜ワークショップ＞</div> <div>「バレエってなに？」を説明して、総合芸術であるバレエの理解をしてもらいます。 その後、体を使つてのバレエを理解するために、体験を実施します。 ■バレエの基本ポジション:簡単なステップを一緒にやってみよう！ ■出演:ダンサーと一緒に組んで踊ってみよう！ ■「白鳥の湖」のストーリー解説</div> <div>＜本公演＞</div> <div>■応援:バレエを楽しく鑑賞しよう！バレエは静かに鑑賞しなければいけないと思っていませんか？実際の公演ではブラボーの声援が飛び交ったり拍手で応援したりします。 ■客席側も登場人物となって演じることで、舞台と一体になって楽しんでもみましょう。 生徒の皆さんに各国の貴族役となってもらい、出演者と一緒に動くシーンを作ります。 バレエは言語表現ではなく、音楽に合わせた動きやマイム等の身体表現であり、心で理解できるようにする。踊り・音楽・美術・ファッション・演技の総合芸術を目で見、耳で聴き、心で感じ、楽しんでもらうことを目標にします。</div>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演		参加・体験人数目安	男女各4名、計8名
			鑑賞人数目安	400名(体育館の広さによる)
本公演演目  原作/作曲 脚本 演出/振付	原振付:マリウス・プティパ、レフ・イワノフ 演出・改訂振付:三谷恭三(テリー・ウェストモーランド演出・改訂振付に基づく) 音楽:P.I.チャイコフスキー 舞台美術・衣装:ボブ・リングウッド			
	公演時間	90	分	
出演者	牧阿佐美バレエ団団員 解説者 1名 ダンサー 24名			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	三谷恭三(芸術監督)～71年、全国舞踊コンクールで第1位受賞。76年、ヴァルナ国際バレエコンクールで牧阿佐美バレエ団の清水洋子とともに最優秀カップル賞を受賞。同年、文化庁芸術家在外研修員として1年間のモナコ留学でマリカ・ベソブラソバに師事。79年、牧阿佐美バレエ団に入団し数多くの主役を踊る。86年芸術選奨文部大臣新人賞、 94年芸術監督就任。 三宅里奈 ～主演・予定。2012年入団。平成7年橘バレエ学校仙台教室入学、平成17年A.M.ステューデントツ入会、平成18年日本ジュニアバレエ入会、平成22年新国立劇場バレエ研修所入所、平成23年橘バレエ学校入学。世界バレエ学校フェスティバル参加。 近藤悠歩～主演・予定。2017年入団。平成14年7歳よりパティオダンススクールにてクラシックバレエを松村とも子に師事。日本バレエ協会主催「くるみ割り人形」、東京バレエ団「ロミオとジュリエット」、井上バレエ団「コンセルバトワール」に参加。			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 25 名 スタッフ: 15 名 合 計: 40 名		運搬	積載量: 4 t 車 長: 10 m 台 数: 2 台



本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間			時間程度
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:00～13:00		13:00～14:30	10分	14:50～16:00	16時10分
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数 目安  ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月		8月		9月
	10月		11月		12月		1月
			10日				
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		10日
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真)          ※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載し	【設営した舞台・演出の様子】			【子どもたちの出演体験】			
							
	開演前			出演ダンサーと一緒に演技をしました。			
	【上演中の様子】						
							
				※「白鳥の湖」公演			
							
	四羽の白鳥			オデットとジークフリード		各国の姫君の踊り(一部)	
著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否			該当なし		該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名				許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通				
No.3-①(実演芸術)				
別添		なし		
【公演団体名 一般財団法人牧阿佐美バレエ団 】				
ワークショップの内容	ワークショップのねらい	バレエは言葉のない芸術です。言葉がないからこそ、誰にでも伝わる芸術でもあります。初めて見たり触れたりする子供たちも多いと思います。ワークショップで、バレエの基本を見てもらい、作品の一部を細かく解説したり、実際に音楽をよく聴きながら体を使って動いてもらうことで、バレエへの理解を深め、公演への期待を膨らませてもらいたいと思います。 そして、知識(歴史のお話し)×体験(バレエの動き)×音楽でバレエ公演を楽しく鑑賞できる知見を身につけてもらうことがねらいです。		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	500人(体育館の広さにより、柔軟に対応可能)
	ワークショップ実施形態及び内容	ワークショップは2部構成です。  1部 (約45分)【知識/体験】 ■バレエの歴史の説明:イタリアで生まれ、フランスで花開き、ロシアで成熟した。 そのころ日本では何時代? バレエの成立を知ること、伝統を感じてもらう。 ■バレエに使用する靴の種類や衣装の説明をします。 ■柔軟・ストレッチ……ダンサーと一緒に柔軟やストレッチを行います。 ■クラシックバレエのレッスン…通常バレエ団で行っているクラスレッスンの一部を披露します。 その後簡単な動作を生徒の皆さんにも一緒に行ってもらいます。 ■パ・ド・ドゥ(組んで踊る)……ダンサーが男女で組んで踊るテクニックを披露します。 数名の生徒の方には、ダンサーと組んで踊る部分も実際に体験していただきます。 ■マイム……バレエには台詞がありません。代わりに手の動きで言葉を伝えます。 基本的なマイムを知るだけで物語がよく分かる!一緒にやってみましょう。  2部 (約45分)【知識/体験/音楽】  ■「白鳥の湖」についての説明と、公演で〈共演する〉部分の練習をします。 曲の説明をしながら、出演(参加)する際の自分の役割(姫の侍女やお小姓役、貴族の役など)を自覚し、なりきって演じることを体験してもらう。 バレエならではの動きがあることを学びます。 ■「白鳥の湖」から、一部抜粋して実演します。		
その他ワークショップに関する特記事項等	【服装】 ワークショップ当日は体操服を着用してください。または動きやすい服装をお願いします。スカートはお勧めできません。  【子供たちの参加について】 全員で参加していただきますが、ステージの上でダンサーと組んで参加する生徒の代表(5～8名)を決めておいていただけると当日スムーズに進行することができます。代表はバレエ経験を問わずどなたでも結構です。  ※観賞人数は少人数から大人数まで柔軟に対応可能です。			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

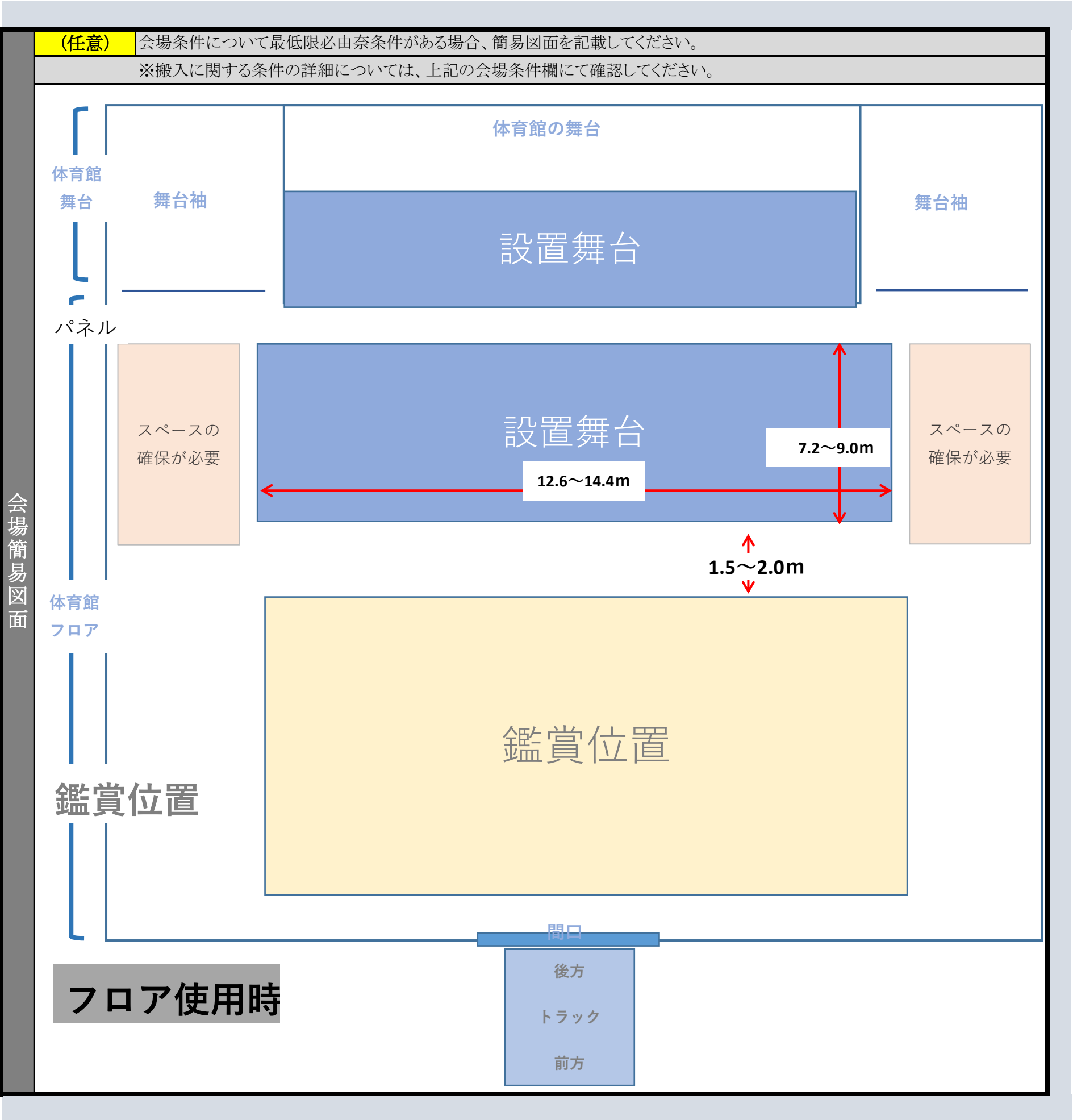




時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
	本公演	共演、参加 又は体験対象となる児童・生徒	15～20分程度	中休み（行間休み）	共演部分のリハーサルと衣裳合わせ	共演する児童全員の参加が必須となります。
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	WSは生徒さんは体操服での参加をお願いします。
	2	本公演時に、着替え用控室を3室(男部屋1:目隠しカーテンあり、女部屋1:同、スタッフ荷物置き用1)ご用意をお願いいたします。
	3	本公演終了後に出るゴミ袋(燃えるゴミ1～2袋程度)の処分をお願いしますでしょうか。





		一般区分・特別エリア区分共通	
		No.5(共通)	
別添		なし	
		【公演団体名 一般財団法人牧阿佐美バレエ団 】	
本事業への応募理由等	本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫	【本事業を通じて実現したいこと】	
		・  本物のバレエ公演を見る機会を広げたい 子供に人気の習い事としてのイメージが強いバレエ。残念ながらバレエを習う子供でさえ、本格的なバレエ公演は見たことがないという方が少なからずいます。フィギュアスケートなどはテレビで見たことがあるのに、とても残念なことです。地方での本格的なバレエ公演機会が少ないことが理由でしょう。 一方で近年世界において日本人のバレエダンサーが目まぐるしく活躍し、その身体性や音楽性で高い評価を得ています。なぜ日本では評価されないのでしょうか？それはバレエを芸術として理解する土壌が育っていないためとも考えられます。 バレエは言葉のない芸術です。言葉がないからこそ、世界中で言語の壁を乗り越えて身体表現や音楽性で勝負ができるのです。日本でもダンス等の身体表現を通じて、表現の多様性が認められつつあります。子供のころから本物の舞台芸術に触れ、その素晴らしさを理解することで世界に通用する感性を磨く一助となることと考えています。 60年以上歴史を持ち、日本のバレエ界を牽引し続けている牧阿佐美バレエ団は全幕バレエ、創作バレエ合わせて100以上のレパートリーがあり、全て一流のスタッフ、ダンサーによって公演されています。日本が芸術面でも世界と肩を並べて表現の多様性を理解できるようになるためには、幼少期からの本物の舞台芸術に触れる機会が欠かせません。	
		・芸術を理解する心を育みたい 特にバレエは芸術の中でも「踊り・音楽・美術・ファッション・演技」に通じる総合芸術と言われています。若いうちに一流芸術に触れること、優れた芸術作品を鑑賞、経験していくことは重要です。バレエ芸術の何がすごいのか？を理解するためには知識が必要です。逆にこの多少の知識さえあれば、バレエはとても面白く理解しやすいものになります。確かにバレエならではの足をみせる衣装や独特な体の使い方は見たことがない人にとっては奇妙に見えるかも知れませんが、それまで自分が経験してきた価値観と異なる文化や、芸術に興味を持ち、より深く知りたいと思うにはきっかけが必要です。今回の取り組みではワークショップを通じて、プロのダンサーからたくさんのきっかけを得てほしいと考えています。日々鍛錬を続けている牧阿佐美バレエ団のダンサーと接する機会は、児童、生徒の心に残るものと確信しております。	
		【上記の実現に向けて、実施の工夫】	
		・事前のワークショップを通じて、牧阿佐美バレエ団の優秀なスタッフやダンサーが、より分かりやすく丁寧にバレエを理解していただけるようにお伝えをします。	
	事業を適切かつ円滑に実施するための工夫	【学校との連絡調整について】	
		・コミュニケーションを円滑に行います。実施校と前もって連絡を取り合い、担任の先生が巡回公演のない場合やバレエを良く分からなくても安心して担当していただけるようにします。牧阿佐美バレエ団では、優秀なスタッフ、事務員を有しており、ご質問やご意見に即時対応できる態勢を整えております。	
		【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】	
		・ 児童、生徒の年齢に応じて適任のダンサーをキャスティングします(牧阿佐美バレエ団のダンサーは系列の歴史あるバレエ学校の先生を務めています。そのため子供の年齢に応じた対応方法が身に付いています。)	
		【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】	
・牧阿佐美バレエ団のHPやインスタグラムやYouTubeなどを参考にいただき、バレエ公演情報や実際の鑑賞を通じて継続的な学びを深めるお手伝いができます。			